

探検・危険・発見!

2・3年生は、ふるさとコミュニケーション科の授業で、9月8日に地域調査を行い危険箇所を探しました。段差や道端の亀裂など普段よく通る道に危険な場所がたくさんあるということが分かりました。そこで、誰もが留生に住めるように中学生の目線から自分たち自らの改善策を考えてみました。



〈海風号外〉

ふるさとコミュニケーション新聞
くろぞうアツブ館島く

発行着
～3年～
・柳水 琴奈
・内山 翔斗
・山下 太史
～2年～
・濱邊 香乃
・中尾 希

平成30年11月発行

危険箇所

～やまや付近の道 B



〈現状〉

水たまり=段差(有)
深さ:くぼしあたり

〈危険性〉

☀ 晴天時

・歩行者の転倒

・ベビーカー
・車いす
・カート
・自転車
・バイク

→ 通りにくい

☁ 雨天時

段差に気付かない
靴が濡れる。

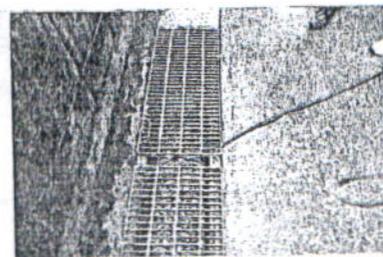
〈改善策〉

・新たにコンクリートを入れて、平らにする。

(内山 翔斗)

〈危険箇所〉A

～やまや付近の側溝の金網～



〈危険性〉

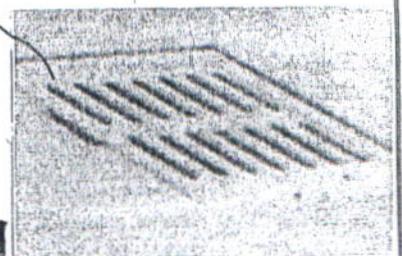
1. 足がはまる。
2. ベビーカー、自転車、車いすなどの車輪がはまる

3. 雨天時 滑りやすくなる。

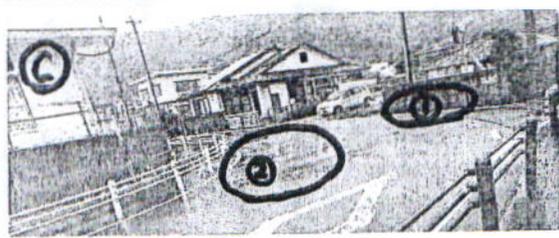
〈改善策〉

1. 金網ではなくて、コンクリートにする。
2. 隙間をなくす。 (下の写真)

「穴が多いため水はけが良い。雨天時、滑りにくい。」



(中尾 希)



「キ、キール」
急カーブが危険
中津郵便局前

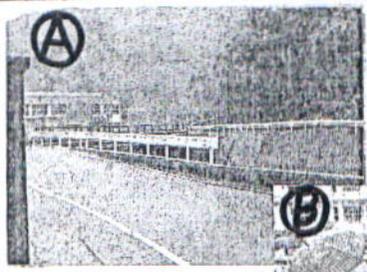
<予想される危険>

- ①歩行者と車の距離が近く事故になりやすい。
- ②道路の補装がはがれ、はがれた場所には水がたまってすべりやすい。

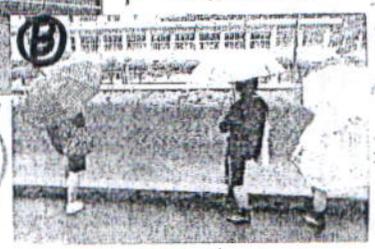
<改善策>

- ①カーブの手前に標識を設置。
- ②道路を補装する。

(杉本 昌幸)



私、昨日ここで滑り落ちた。



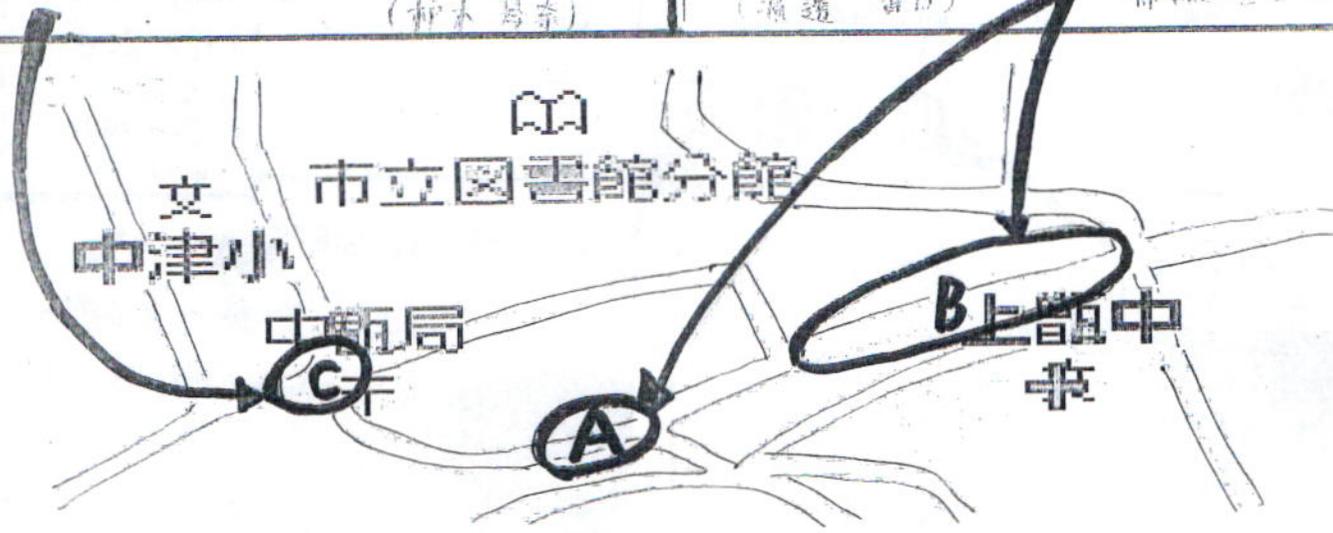
小さい子、落ちやすい。

<危険！>

- ・リフトレールのあるところ、高いところがある。
 - ・あつちあつちで歩いて意味がない。
 - ・足元が鼻で滑る。
- (瀧邊 香由)

<改善策>

- ・下が空いていない、ガードレールの設置。
- ・鼻をコンクリートで覆う。
- ・危険を知らせる標識を立てる。



(感想)

地域調査を通して、普段意識しない場所にも危険な所が多かったり、ユニバーサルデザインがゆかり、たりと、改善すべき場所が多いことに気づきました。だから、市の力も借りて、ユニバーサルデザインを増やして、危険な場所をなくしていきたいと思っています。(内山 翔斗)

今回よくが取り上げた場所は、普段走ったり、ランニングや自転車で通ったりして、あまり車と車と左も無い危険箇所を改善したりしてほしいと思います。そして、きれいな島、バリアフリーの多い島に、なっ、てほしいと思います。(山下 大史)

地域調査活動を通して、普段何気なく通っている道に危険な箇所があり、驚きました。新潟は高齢者の割合が高いのに、小さな段差

や溝が物々あり、危険だと思いました。今回の新聞を取り上げた場所以外の所も、自分の中で思いついた、地域やいろいろな人々に発信して、安全な新潟になっ、てほしいです。(伊藤 琴糸)

地域調査の学習を通して、日ごろ気づかぬところ、危険な場所が、たくさんあることが、こころを知りました。新潟のトクが安全に暮らすように、自分なりにできることを考えていきたいと思います。(中尾 歩)

私は、今回地域調査を行って、新潟には危険箇所がいろいろとあり、感じました。道に段差や穴が多く、畑地や高齢者はもちろん、若者も気がつきにくい場所が多くありました。たまたまが原因で、安全な島であってほしいの、一回でも早く改善してほしいです。(齋藤 悠希)